

# 国語教育相談室

中学校

特集

言葉で未来を  
切り開け。

令和三年度版 中学校『国語』

「書く力」を、  
ぐんと伸ばす。

令和三年度版『中学書写』

巻頭エッセイ

言葉とは  
人そのもの  
棚橋弘至

ブックガイド

「見ること」  
を楽しむ、  
「ものの見方」を  
鍛える4冊



91

光村図書

内容解説資料

本誌は、文部科学省による「教科書採択の公正確保について」に基づき、(一社)教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」にのって配布しております。

## 授業にデジタル教科書を！



光村のデジタル教科書がさらにパワーアップ！  
国語、英語、美術の授業を強力にサポートします。

指導者用(中学校)

光村「国語デジタル教科書」 1～3年 ダウンロード版 各23,000円+税

光村「英語デジタル教科書」 1～3年 ダウンロード版 各24,000円+税

光村「美術デジタル教材」わくわく美術室 DVD版(1年契約版) 12,000円+税

学校フリーライセンス：校内でご利用になるパソコンの台数を制限しない契約です。

学習者用(中学校)

光村「国語デジタル教科書」 1～3年 1ユーザー 各1,500円+税  
使用期間は2021年3月31日までです。

体験版はホームページよりダウンロードすることができます。  
[www.mitsumura-tosho.co.jp/digital/](http://www.mitsumura-tosho.co.jp/digital/)

CoNETS®

光村図書は、CoNETS(コネッツ)に  
参画しています。

TEL: 03-3493-5741 (デジタル教材お客様窓口)  
E-mail: digital-info@mitsumura-tosho.co.jp

中学校 国語教育相談室 通巻 NO.193 2020年4月20日発行

発行人 小泉 茂  
発行所 光村図書出版株式会社  
東京都品川区上大崎2-19-9 〒141-8675  
電話: 03-3493-2111  
[www.mitsumura-tosho.co.jp](http://www.mitsumura-tosho.co.jp)  
E-mail: koho@mitsumura-tosho.co.jp

印刷所 加藤文明社  
デザイン 望月昭秀+片桐凜子(NILSON)

個人情報の取り扱いに関しては、弊社「個人情報保護方針」に  
のっとり、適切な管理・保護に努めてまいります。詳しくは、  
光村図書ウェブサイトをご覧ください。広報誌の配達停止をご  
希望の方は、光村図書出版までご連絡ください。

光村図書

CONTENTS



は数字の初め、一番小さな自然数だ。言葉の上でも、「一」は大活躍。「一切くない」「一体く？」のように否定や疑問に呼応する副詞の中には「一」がある。極端なことを表すのだ。「一致」「一定」のように量や程度の不変性を表すこともある。「いちいち」「一つ一つ」では、個々の小さなことでもしっかり取り上げるといことで、全体では大きな数になるような意味になる(微妙にニュアンスが違うが)。小さなことでも大切にするのが「一」だ。ただし、「二気にく」「二斉にく」の「二」は、分割を許さない。「一層頑張れ」などと言われる「一」も、あるまじり程度には頑張るという感じの意味だ。その期待に応えられないと「成績は今一つ」とか「もう一つだな」などと言われてしまう。「最小」だが、無視できないのだ。さらに、「〇〇様ご一家」「一族郎党」「一国を挙げて」という場合、「一」はまとまりを表し、いわば「全体」を表す。「おなか一杯」はもう相当な量だ。

とらえ方によっては、「一」は大きくもなるのだ。恐るべし、「一」。

ところが、この「一」は曲者でもある。数字を読む時、時々消えちゃうのだ。例えば、「一一一一一一一一一一円」は何と読みますか?—私なら、「いっせんひゃくじゅういちおおく、いっせんひゃくじゅういちまん、せんひゃくじゅういちえん」と読む。「一」を読む時と読まない時がある。「万、億」などの前では、「一」を入れ、「いちまん」「いちおおく」と読む。一方、「十、百」の前には、「いちじゅう」「いちひゃく」のように言わない。「一」は隠れる。「千」もそう。例の一〇〇〇円と書いたお札も「千円札」という。「一千円札」とは言わない。ところが、もう一つ〇が増えると、今度は「一万円札」と、「一」を入れる。千円札と一万円札とは、もらった時のうれしさだけではなく、「一」を入れるかどうかという違いもあるのだ。

ただ、「千」だけならふつう「一」をつけないが、「万」をつけると、「一千万円(いっせんまんえん)」のように「一」を入れたくなる。そこから考えると、ただの「十、百、千」は、日常慣れた数字で、「一」ということをわざわざ断らないと言えそうだ。これに対して、「万、億」となると、位どりの数という特別扱いになり、その桁の数字が何であるかが問題になり、「一」が必要になる。「千」は、ふだんは「十、百」の仲間だが、位どりとして、「一」のお出ましを願うこともある。

ふだん目立たない「一」だ。が、重要な時にはちゃんと出てくる。「いやあ、最小なんでー」なんて言いつつ、実は結構大きなまとまりだったりもする。通知簿の「一」は最低評価だが、「よっ日本一！」は最高評価。ここは一つ、まずは「一歩一歩」「一刻一刻」を頑張って、「今日という日の一番いい過ごし方」を目指しましょう!

さて、この文章に「一」は何度出てきたでしょう? え、いちいち面倒だつて?

早稲田大学教授 森山卓郎

探検! 言葉の森 40

森山卓郎

言葉とは

人そのもの

棚橋弘至

02

新しい「読むこと」教材の提案  
作者・筆者インタビュー  
西加奈子  
池上彰  
松原仁

「書く力」を、  
ぐんと伸ばす。  
令和三年度版  
『中学書写』

特集

言葉で未来を切り開け。

04

令和三年度版  
中学校『国語』

「読むこと」教材一覧

文学

感性を磨く言葉と出会う

説明文

論理的思考力が身につく

新しい「学習ページ」の提案  
主体的・対話的で深い学びをサポート  
新しい「読書教材」の提案  
読書がもつと身近になる仕掛けを

新しい学習方法の提案  
QRコードで  
学びが立体的に

授業に役立つブックガイド7  
「見ること」を楽しむ、  
「もの見方」を  
鍛える4冊  
渡辺光輝

22

16



言葉と向き合う

# 言葉とは人そのもの

プロレスラー 棚橋弘至 (新日本プロレス)

「どんな言葉を使うか？」で、生き方が決まります。大げさに聞こえるかも知れませんが、経験上、ほぼ間違いないです。近い将来、どこかの偉い人がそれを証明する説を唱えてくれるかもしれません。

自分の周りの人を思い出してみてください。丁寧な言葉を使う人は丁寧な性格で丁寧な人生を送っているし、乱暴な物言いの人は、なにかと人と衝突しているし、元気

良くハキハキと話す人は、明るい印象を周りに与えているのではないのでしょうか？そう。発せられた「言葉」で、周りの人は意識的に、または無意識のうちに人間を判断し、自分にとってどういう存在なのかをふるいにかけているのです。

僕が「言葉」に興味を持ち始めたのは高校生のときでした。現国のテストの点数が伸びなかった僕は、先生に相談し本を読むことを勧められました。基本的に運動ばかりしていた僕は、読書の習慣がなかったのです。果たして何から読めばいいのか、と書店に入り、最初に手に取ったのは赤川次郎先生の三毛猫ホームズシリーズの一冊でした。「勉強のため」と思い読み始めたのですが、いつのまにかストーリーに引き込まれ3時間くらいで読み終わっていました。

それから僕は読書にハマりました。西村京太郎先生、内田康夫先生など全国あちこちで起こる事件に、岐阜県からほとんど出たことのない僕はエア旅行を楽しみま

した。大学生になり、東野圭吾先生や宮部みゆき先生の作品はほぼ読破しました。京極夏彦先生の作品は…分厚過ぎて…とはいへ何冊かは読みました(笑)。

さて、こうして読書の習慣が身についた僕は、少しずつではありますが言葉の大切さを理解し始め、さらにそれを痛感したのはプロレスラーになってからでした。

プロレスラーになって、リング上で頑張って闘ってさえいければ、順番にトップレスラーになれるのではないかと考えていました。しかし、新日本プロレス入門直後から徐々にプロレスの人氣が下火になり、お客さんも減っていつてしまったのです。ショックでした。マジかよ！と思いました。入門テストを3回目でなんとか突破。これで厳しい練習を耐え抜けばさえすれば、スターに！トップレスラーになれるんじゃないのかよ！と思っていたからです。しかし、待っていても事態は好転しませんでした。

そこで、2006年、新日本プロレスのIWGPヘビー級チャンピオンになった僕

に分身だからです。その事に気づくのは、若ければ若いほどいいと思います。

最後に僕が自ら考えた自分のキャッチコピーを紹介します。

「100年に一人の逸材」

何度でも言いましょう。言葉とは、その人自身でもあり、生き方を人に伝えるものなのです。

は、積極的に大会のプロモーション活動を始めました。「プロレスを観たことがない人に、プロレスをアピールして会場に来てもらおう」と考えたのです。ですが、なかなか思惑通りには行きませんでした。「プロレス」という言葉の印象が良くなかったからです。プロレスという四文字が持っている印象は「暴力的、野蛮、怖そう、痛そう」というマイナスなものばかりだったからです。プロモーションで訪れた先の方が女性だと、その拒絶反応はさらに顕著でした。こうして、マイナスからのスタートを切った僕のプロレス普及活動でしたが、突破口を開いたのは「言葉」でした。プロレスラーでありながら、プロレスラーらしくない外見に、優しく物腰の柔らかい対応力が僕にはありました(笑)。プロレスが従来持っていた「怖い、痛そう」というイメージを変えるためには、印象操作が必要でした。「怖い、痛そう」を「迫力がある、面白そう」に変えていく作業を、その対応力を活かしてコツコツと水面下で進めまし

た。また、試合前や試合後のコメントにも気を配りました。「頑張ります！」や「絶対、勝ちます！」などの言葉ではプロレスに興味がある人には届かないからです。ここで役に立ったのは、僕が高校生のときからずっと無意識下に溜め込んでいた語彙量でした。プロレスに興味がない方に届く言葉を選んで使うようにしたのです。仮面ライダーが好きだったこともあり、仮面ライダーのキャッチコピーや名言をそのまま使うこともありました。これでライダーファンには届く可能性が出てきます。それに加えて気をつけたのは、思ったことを、そのまま口に出すということでした。人を好きになるのも、嫌いになるのも言葉からだと考えたからです。

「外見とはただの器で、中身を埋めるのは言葉。言葉とは人そのものである」という真理にたどり着いてしまったからです。冒頭でも言いましたが「どんな言葉を使うか？」で人生が決まっていきます。自分から発せられた言葉は自分そのもの。まさ



©新日本プロレス

たなはしひろし  
棚橋弘至

1976年岐阜県生まれ。立命館大学法学部卒業。大学時代にプロレスラーを志し、在学中に入門テストに合格。日本人離れした肉体で、団体最高峰のベルト、IWGPヘビー級王座に何度も君臨。近年はテレビ出演や執筆活動など、リング外での活動も精力的に行い、プロレスブームをけん引する。著書に「棚橋弘至はなぜ新日本プロレスを変えたことができたのか」(飛鳥新社)、『カウント2.9から立ち上がれ 逆境からの「復活力」』(マガジンハウス)などがある。

# 特集

# 言葉で未来を切り開け。

令和三年度版 中学校『国語』

来年度からの新学習指導要領の完全実施に伴い、教科書も新しく生まれ変わります。

この特集では、新学習指導要領が目ざすものを

新版教科書でどのように具現化しているか、

特に「読むこと」の領域に焦点を当てて紹介します。



## 言葉による見方・考え方

上に示したのは、一年冒頭の「言葉に出会うために」(一年P12~13)です。

来年度から完全実施される新しい学習指導要領で、国語科の目標は「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を(中略)育成することを目指す」としています。

光村図書は「言葉に出会うために」にもうたっているように、従来からこの考え方の追究を続

## 言葉に出会うために

これまで、

どんな言葉に出会ってきただろう。

そして、これから

どんな言葉に出会っていくだろう。

教科書を開けば

たくさん言葉が

あなたを待っている。

国語を学ぶのは

あなた自身を作り上げるため。

言葉は

あなたと世界をつなぎ

あなた自身の世界を作り上げる。

手に入れた言葉の数だけ

世界がはつきり見えてくる。

身につけた言葉の数だけ

自分が大きくなっていく。

さあ、友達を増やすように

言葉を増やしていこう。

言葉の数だけ、あなたは世界に近づく。

言葉の数だけ、あなたの世界は大きくなる。

## 言葉で未来を切り開け

け、教科書にも反映してきました。今回の学習指導要領改訂を踏まえ、それをいっそう深化させた教科書を編集しました。

現在の生徒たちが社会人となる二〇三〇年、社会の変化は加速度を増し、複雑で予測困難になっていくと予想されています。社会の変化にいかに対処していくかという受け身の観点に立つのであれば、難しい時代になります。

「言葉で未来を切り開け」。今回の新版教科書のテーマは、そうした背景を受けて設定しました。生徒一人一人が未来の創り手として、決まった答えのない課題に積極的に取り組み、他者と協働して試行錯誤しながら新しい価値を創造できるようになる、そんな教科書を目指しています。

## 言葉と心を育む教科書を

そのために特に大切なのは、優れた作品に数多く出会い、豊かな感性と論理的思考力、語彙力を育むことでしょう。

次ページからは、特に「読むこと」教材で、それをどのように実現しているのかをご紹介します。

# 「読むこと」教材一覧

## 文学——感性を磨く言葉と出会う

1年

2年

3年

<p>新 朝のりレー [詩] 谷川俊太郎 言葉に出会うために 野原はうたう [詩] 工藤直子</p> <p>新 シンシユン [物語] 西加奈子 言葉に立ち止まる 詩の世界 [詩解説] (新 序文 谷川俊太郎) 新 一枚の絵 木坂涼 新 朝 吉田加南子 新 未確認飛行物体 入沢康夫 心の動き 大人になれなかった弟たちに…… [物語] 米倉齊加年 星の花が降るころに [小説] 安東みきえ 音読を楽しもう 新 大阿蘇 [詩] 三好達治 自分を見つめる 少年の日の思い出 [小説] ヘルマン・ヘッセ / 高橋健二 訳 新 随筆二編 [随筆] (空 / えんぼ) 工藤直子 新 さくらの はなびら [詩] まど・みちお</p> <p>資料編 坊っちゃん 夏目漱石 夏目漱石の生涯</p>	<p>見えないだけ [詩] 牟礼慶子</p> <p>広がる学びへ アイズプラネット [小説] 椎名誠 言葉と向き合う 新 短歌に親しむ [短歌・解説] 栗木京子 短歌を味わう (六首) 言葉の力 [随筆] 大岡信 人間のきずな 盆土産 [小説] 三浦哲郎 字のない葉書 [随筆] 向田邦子 音読を楽しもう 新 月夜の浜辺 [詩] 中原中也 表現を見つめる 走れメロス [小説] 太宰治 新 木 [詩] 田村隆一</p> <p>資料編 新形 菊池寛 菊池寛の生涯</p>	<p>新 世界はうつくしいと [詩] 長田弘</p> <p>深まる学びへ 握手 [小説] 井上ひさし 言葉とともに 俳句の可能性 [俳句・解説] 宇多喜代子 俳句を味わう (九句) 状況の中で 挨拶——原爆の写真によせて [詩] 石垣りん 故郷 [小説] 魯迅 / 竹内好 訳 音読を楽しもう 初恋 [詩] 島崎藤村 未来へ向かって 温かいスープ [随筆] 今道友信 わたしを束ねないで [詩] 新川和江</p> <p>資料編 高瀬舟 森鷗外 森鷗外の生涯</p>
--	--	--

近代文学の系列を新設

## 説明文——論理的思考力が身につく

1年

2年

3年

<p>新しい視点で ダイコンは大きな根? [図説] 稲垣栄洋 ちよっと立ち止まって [図説] 桑原茂夫 言葉に立ち止まる 新 比喩で広がる言葉の世界 [図説] 森山卓郎</p> <p>筋道を立てて 新 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ [図説] 鈴木俊貴 新 「不便」の価値を見つめ直す [図説] 川上浩司</p> <p>資料編 幻の魚は生きていた 中坊徹次</p>	<p>多様な視点から 新 クマゼミ増加の原因を探る [図説] 沼田英治</p> <p>情報社会を生きる 新 「自分で考える時間」をもとう 池上彰</p> <p>論理を捉えて モアイは語る——地球の未来 [論説] 安田喜憲</p> <p>価値を語る 君は「最後の晚餐」を知っているか [評論] 布施英利 新 「最後の晚餐」の新しい [図説] 藤原えりみ</p> <p>資料編 生物が記録する科学 ——バイオリングの可能性 佐藤克文</p>	<p>視野を広げて 作られた「物語」を超えて [図説] 山極寿一</p> <p>情報社会を生きる 新 実用的な文章を読もう 新 報道文を比較して読もう [比較] 実社会</p> <p>自らの考えを 新 人工知能との未来 [論説] 羽生善治 新 人間と人工知能と創造性 [論説] 松原仁 [比較] 比較</p> <p>価値を生み出す 誰かの代わりに [論説] 鷲田清一</p> <p>資料編 二つの悲しみ 杉山龍丸 アラスカとの出会い 星野道夫</p>
--	--	---

価値の創造——  
筆者の考えを基に  
対象を評価し、新たな  
価値を見いだす系列

論理の吟味——  
筆者の論理展開を  
客観的・批判的に  
読み解く系列

視野を広げる——  
文章の内容や  
論理の展開を  
正確に捉える系列

図表 文章と図表を結び付ける

実社会 実社会で役立つ力をつける

比較 比較して読む・批判的に読む



新しい「読むこと」教材の提案

# 多様な考え方を育み、言葉の力で未来を開く

さまざまな情報や価値観にあふれた現代。人間関係の悩みや未来への不安を抱えている生徒もいるでしょう。新版では、そうした生徒たちに、言葉の力で新たな未来を切り開いていくきっかけを与えてくれる作品を数多く掲載しました。さらに、主な作品の作者・筆者の作品に込めた思いや中学生へのメッセージを動画で収録し、主体的な読みにつながる工夫をしています。ここでは、新版で新たに書き下ろしを願った三人の方のメッセージを掲載しました。

作者インタビュー

## 一年「シンシユン」



小説家  
西加奈子



にし・かなこ  
イラン・テヘラン生まれ。『サラバ!』で第152回直木三十五賞を受賞。著書に『さくら』『通天閣』『ふくわらい』『おまじない』などがある。

### 言葉と仲よくなるには

子どもたちは、言葉とはもう友達になっっているんですよ。十年ぐらいしゃべってるんだから、すでに誰よりも友達だと思います。

分の中で作っていくというのが、私は仲間になる一歩だと思います。

自分だけの言葉は、誰にもジャッジされないじゃないですか、誰も知らないから。

自分しかジャッジしなくて、自分だけを慰めて、自分だけの背中を押す言葉があると、自分が自分の応援団長みたいなもので、とても強くなれます。アウェイであろうと、自分の言葉と対話できるから、すごく強くなると思います。

インタビューはこちらから視聴できます



「僕の好きなものをシンタが嫌いても、僕は傷つかないよ。あ、ううん、傷つくかもしれないけど、でも、じゃあ、だからこそ話そうよ。どうして好きなのか、どうして嫌いなのか。」  
体つきも考え方もよく似ているシンタとシンタ。とても仲のよい二人だったが、ある小説の印象を巡って、心の距離が離れていく……。

筆者インタビュー

## 二年「自分で考える時間」をもとろ

ジャーナリスト  
池上彰



いけがみ・あきら  
長野県出身。光村図書『国語』編集委員。著書に『伝える力』『考える力がつく本』などがある。

特設教材「情報社会を生きる」では、新聞やテレビニュース、ネットニュース、SNSなどの特徴を比較し、その特徴を生かして情報を集める活動を設定。  
池上さんは『自分で考える時間』をもとろの中で、「編集」をキーワードに、情報を整理し吟味するための視点について、わかりやすい例を挙げながら解説しています。

### 子どもの頃のメディアとの付き合い方

私が中学生の頃、当時得られる情報というのは新聞とテレビ、それからラジオでした。それぞれ、どんなニュースがあるんだろう、どんな情報があるんだろうというのを、そのまま素直

に受け止めてましたね。

高校生の頃、新聞によって、同じニュースでも全く扱い方が違ってたり、内容が全然違っていたりして、「あれ？新聞社によって、ずいぶん情報が違うんだ」と、ちょっとびっくりして、「あ、そうか。それぞれが人間が取材して書いてるんだから、それは違うよな。それを、ただそのまま受け取ったらいけないんだな」というように疑問をもつようになりました。

### 中学生へのアドバイス

インターネット上では、実にさまざまな個人が情報を発信しています。それが単なる思い込みだったり、意図的に間違いを伝えているということもある。多くの人の目を通っていない結果、とんでもない間違いもあり得るんだということ前提に、情報に接したほうがいいですね。例えば、友達どうしでのいろんなうわさ話が

ありますよね。「こういう話があるんだよ」って聞いて、「えーっ」と思ってびっくりしたら、後で他の人から聞いたら違ってたということは、多分あると思うんですね。それはインターネットの世界でも同じことだと思っんですよ。そのときには、誰が発信してるのかというのをまず見ることが大事ですね。インターネットですと、実にさまざまな個人が発信しています。思い違いをすることはあるわけです。人間ですから。だから、情報を受け取るときには、「ちょっと待てよ」と、疑問をもつて、自分で考える時間をもつという姿勢が大事だと思います。

インタビューはこちらから視聴できます



# 三年「人間と人工知能と創造性」

三年生では、二つの論説を読み比べて、自分の考えをもつ教材を設定。「人間と人工知能の関わり」をテーマに、人工知能研究者の松原さんと将棋棋士の羽生善治さんが、意見を述べています。

松原さんは、コンピュータに小説を書かせる研究を通して、これからの時代を生きる人間にとって必要な力とは何かを訴えかけています。

私は人工知能に小説を書かせるという研究をしています。その研究を通して、作家、人間が小説を書くというのとはどういうことなのか、という過程で小説というのとは書かれているのかというのを明らかにしたいと思っています。もちろん小説家は自分で「僕はこういうふうにいる」という意識をもって書いています。だから、コンピュータに作らせたものと人間の作ったものとを比較することによって、小説を書くというのとはどういうことか明らかにするのを目指しているんです。

## 人工知能の研究とは

人工知能の研究というのは、「知能」というものを知りたいということなんです。誰しも好奇心で「人間とは何か」「自分とは何か」を知りたいと思うんです。それを少しでも理解しようというのが人工知能の研究です。例えば

## 人工知能と創造性について

創造性は人間さえ発揮すればいいので、コンピュータは創造性をもたなくていいという立場は理解できます。しかし、コンピュータがもし創造性をもてば、世界が広がる可能性があります。僕自身、将棋とか囲碁のプログラムの研究を

ずっとしていますが、ご存じのように将棋や囲碁はコンピュータのほうが人間よりも強いんです。それで今何が起きてるかというところ、コンピュータが人間のプロ棋士でも見つけられなかった創造的な手、新しい手を見つけているんです。そうするとプロ棋士が感動するわけなんです。「こんな手があるのか」、「われわれには思いつかなかった」と。

今、将棋界でも囲碁界でも、プロ棋士がコンピュータが見つけた手を発展させることがたくさんあります。そうすると、将棋とか囲碁の世界に新たな可能性が広がってきます。これが実は人間と人工知能のとてもいい関係だと思っ

人工知能研究者  
松原 仁



まつばら・ひとし  
東京都出身。東京大学大学院教授。著書に『AIに心は宿るのか』などがある。

インタビューはこちらから視聴できます



## 新しい「学習」ページの提案

# 主体的・対話的で深い学びをサポート

「読むこと」教材の「学習」ページ（手引き）が大きく生まれ変わりました。これまでの二ページから見開き二ページ構成にし、より視覚的に学習の流れやつけた力をつかむことができます。それによって、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現します。

**Point 1**

**学習過程がひと目でわかる**

生徒の主体的な学びを促すために、学習過程を明示するとともに、重点を置く過程は強調して、身につける力の焦点化を図りました。個→集団→個で対話的に学びを深めます。

**学習**

学習活動 文章の要旨を捉え、それをもとに考えたことを伝え合う。

目標 ● 筆者の主張と事例との関係を理解する。  
● 段落のまとまりに着目し、文章の要旨を捉える。

① 文章の構成に着目し、要旨を捉えよう。  
② 文章全体を、大きく三つのまとまり（序論・本論・結論）に分けてみよう。さらに、本論を事例ごとのまとまりに分けてみよう。  
③ 筆者の考え（結論）をもとに、文章の要旨をまとめてみよう。

④ 文章と図の対応に注意し、本論の図がそれぞれ何を述べるために示されているかをひとりで言葉で説明しよう。  
⑤ 結論を導くために、序論と本論がどのような役割を果たしているかを考えよう。

⑥ 考えたことを伝え合う。

筆者の考えをもとに、生活の中で、もの見方や考え方が広がったと思われる体験や事例を発表しよう。

最初につづいた論議解決できなかった。学習の前後には気づかなかった。新たな発見や疑問があれば、対話を通して報告しよう。

筆者は、なぜ私たちに「A」を止らして、他の見方を試してみること（B）をすすめているのだろうか。

「A」を止らして「B」に深く考えよう。

要旨の捉え方について学んだことを、自分の言葉でまとめてみよう。

**Point 2**

**「深い学び」へ導く具体的な手立て**

「学習の窓」では、汎用的な読みのポイントを、図解しながらわかりやすく解説。年間学ぶ読みの力を一覧できます。「学習用語」が使用語彙になるよう、取り立てて示しています。

**学習の窓**

文章の構成に着目する

● 説明的な文章は、大きく三つのまとまりで構成されることが多い（初め・中・終わり、序論・本論・結論など）。文章全体の構成を意識して読むと、内容を整理したり、要旨を捉えたりすることに役立つ。

【文章の構成の例】

序論	本論	結論
導入・話題提示、問題提起	具体的な説明 （事例や根拠を支える）	まとめの主張

【学習に使う言葉】

要旨 文章の内容や、筆者の考えの中心となる事柄のこと。「結論」のまとまりに表れることが多い。

● 2枚 説明的な文章を構成するための言葉を広げる

本文から「見ること」に関する言葉や慣用語を抜き出し、注目の度合いや、見る時間の長さの順に整理しよう。

**Point 3**

**自分の言葉で書く振り返り**

「何ができるようになったか」を自分の言葉で書く設問です。理解したことを言語化したり、他の場で活用（転移）したりすることで、資質・能力を確実に定着させます。

## 読書としてのウェブページ

新版教科書では、新しい読書のカたちとしてウェブページを読む活動を提案しました。教科書に掲載された文章の続きや読み応えのあるコンテンツをウェブページで読むことができます。



広告などのバナーが全て削除してあり、生徒が安心して利用できます。



ウェブサイトで続きを読むことができます。

## 読書教材一覧

1年	本の中の中学生 あと少し、もう少し 瀬尾まいこ 西の魔女が死んだ 梨木香歩 ブラインドの向こうに見える光 小林良介	考える人になろう 君たちはどう生きるか 吉野源三郎 たのしい制約 佐藤雅彦
	2年	翻訳作品を読み比べよう 星の王子さま サン＝テグジュペリ 内藤 濯・池澤夏樹 訳
3年	「私の一冊」を探しにいこう 羊と鋼の森 宮下奈都	本は世界への扉 エルサルバドルの少女 ヘスース 長倉洋海 紛争地の看護師 白川優子

## 魅力的な読書活動

「本を紹介する」「感想を共有する」「読書生活をデザインする」の三つの系統で、取り組みやすく、意義のある読書活動を位置づけました。



本の紹介合戦

## 「私の一冊」

サッカー選手や俳優など、各界で活躍する人たちのおすすめの一冊を掲載しました。

**私の一冊** 深夜特急 全六巻

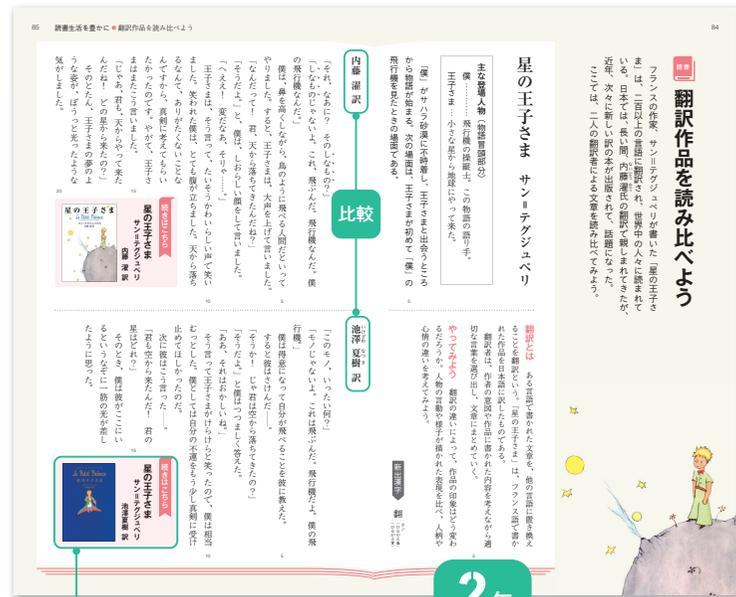
ドイツでプレーするのはひとり旅に似ている。共感する部分が多かった。「心を整える。」より

長谷部 誠  
1984年 静岡県出身。  
プロサッカー選手。

香港からロンドンまでの旅に出た筆者。失敗や出会いを通して、新しい発見をしていく。

沢木耕太郎

## 教科書から広がる新しい「読書」



2年

### 翻訳作品を読み比べよう

「星の王子さま」の二つの翻訳を読み比べるところから、世界の名作へと広がります。



教科書では、一部のみを紹介。続きは、本を手にとって読むように促しています。

1年

### 本の中の中学生

中学生が登場する本の一部を紹介し、同じテーマで読み広げていく楽しさを伝えます。



3年

### 「私の一冊」を探しにいこう

生徒が自分に合った本を見つけられるよう、ポップを見る、書評を読むなど、さまざまな本の探し方を示しました。



## 新しい「読書教材」の提案

# 読書がもっと身近になる仕掛けを

教科書で完結することなく、確実に「本」に手を伸ばしてもらえよう、同じテーマで複数の作品の一部を紹介するなど、教材の示し方を刷新しました。読書がもっと身近になる、楽しい仕掛けが満載です。

紹介図書数

現 281冊  
(内、表紙付 241)

↓

新 412冊  
(内、表紙付 277)



一年「話題や展開をとらえて話し合おう」



一年「矛盾」朗読音声画面



一年「言葉をもつ鳥」シンクワカム



※「QRコード」は(株)デンソーウェブの登録商標です。

②「話す・聞く」の活動場面動画  
 スピーチや話し合いなどの活動場面を収録しました。話す速さや間の取り方、資料の提示のしかたなど紙面だけでは伝わりにくいノンバーバルな側面の参考となります。

③古典の朗読音声  
 アナウンサーや声優など、一流の朗読者による音声を収録しました。古典独特の響きやリズムを味わうことで、古典の世界が広がります。

④読みを助ける映像資料  
 生徒たちになじみの薄い時代背景や、言葉だけでは捉えにくい音声や動作などを資料映像として収録しました。内容をより深くつかむための補助として活用できます。

②「話す・聞く」の活動場面動画

③古典の朗読音声

④読みを助ける映像資料

1年「野原はうたう」作者の工藤直子さんのインタビュー動画



教科書に掲載されているQRコードを、スマートフォンやタブレット端末のカメラで読み込むと、動画や音声、写真などの資料を見ることができます。

QRコンテンツの  
一覧はこちらから。



①作者・筆者のインタビュー動画

本誌P9～11で掲載した方をはじめ、各分野で活躍する人の生の声、表情に接することによって、教材への興味がますます深まります。



2年「君は『最後の晩餐』を知っているか」筆者の布施英利さんのインタビュー動画

新しい学習方法の提案

QRコードで学びが立体的に

文字を読むだけでなく、動画や音声を視聴することによって、学びの世界はより広がり、深まります。60本の動画をはじめ、家庭学習や教室での授業など、さまざまな場面で活用できるコンテンツを用意し、QRコードによって簡単にアクセスできるようにしました。

# 「書く力」を、ぐんと伸ばす。

## 令和3年度版『中学書写』

令和3年度版『中学書写』のご紹介。『中学書写』の編集委員である  
甲斐利恵子先生とともに、新しい教科書のおすすめポイントをご紹介します。

### 半紙原寸大

大きく分かりやすい教材文字で、さらに学びやすくなりました。

### 筆使い動画

紙面のQRコードを読み取ると、筆使いを動画で確認することができます。



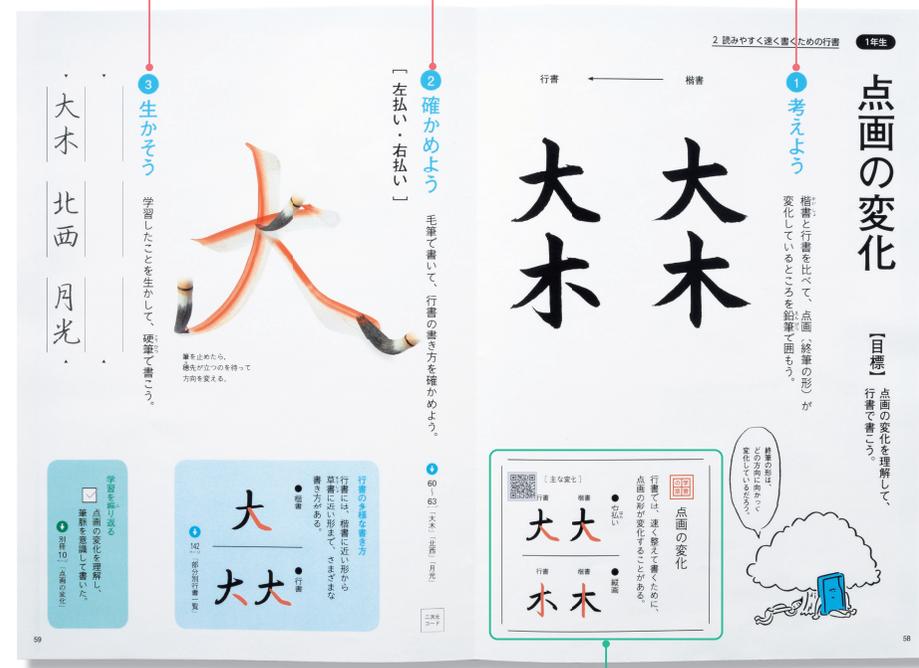
行書の基本的な書き方を学ぶ教材は、4ページ構成としました。

▲1年60-61ページ

# 伸ばす。

### 学習の進め方

「何を、どう学ぶか」がわかるよう、学習の進め方を示しました。



▲1年58-59ページ

### 「学習の窓」

学習のポイントを簡潔にまとめました。何を学ぶかがひと目で分かると同時に、力をつけるための学習語彙が身につきます。

一、学びやすい、教えやすい

**甲斐先生** 筆使いを教えるとき、水書板を使って手本を示したりしていました。生徒には伝わりにくいだろうなと思っていました。動画を見ながら説明できるのもいいですし、画像を止めてポイントを示せるのもいいと思います。書写を専門にしている先生方にも、強い味方になってくれるのではないのでしょうか。

教科書紙面のQRコードにスマートフォンやタブレットをかざすと、筆使い等の動画を閲覧することができます。紙面では伝わりにくい文字の書き方への理解が、ぐっと深まります。

### 筆使い動画が閲覧できる

**甲斐先生** 新版教科書には、書く過程の筆使いを朱墨や補助線、写真などで丁寧に示しました。墨で書かれた「結果」だけを見ても「どうすれば」この線が書けるのかは読み取れませんが、これなら生徒もどうやって書いたのか再現できます。

### 半紙原寸大で学びやすい

行書の基本的な書き方を学ぶ教材には、半紙原寸大を掲載。書き方を観察したり、自分の書いた文字と比べてみるには、同じ大きさであるほうが学びやすく、学習効果も高まります。併せて、朱墨の文字を掲載し、書くときの筆の動きを視覚的に示しました。

**甲斐先生** 何かを学び、習得していくには、「考えること」「言葉にすること」が不可欠です。①③の学習を通して、書こうとする文字としっかり向き合うことで、生きて働く「書く力」が身につきます。

見通しをもって主体的に学べるよう、全ての学習ページに「学習の進め方」を明記しました。  
① 考えよう（文字の整え方の原理・原則の発見）  
② 確かめよう（書いて原理・原則を確認）  
③ 生かそう（日常の文字に生かす）という三つのステップで、他の文字を書くときにも広く応用できる「書く力」を育みます。

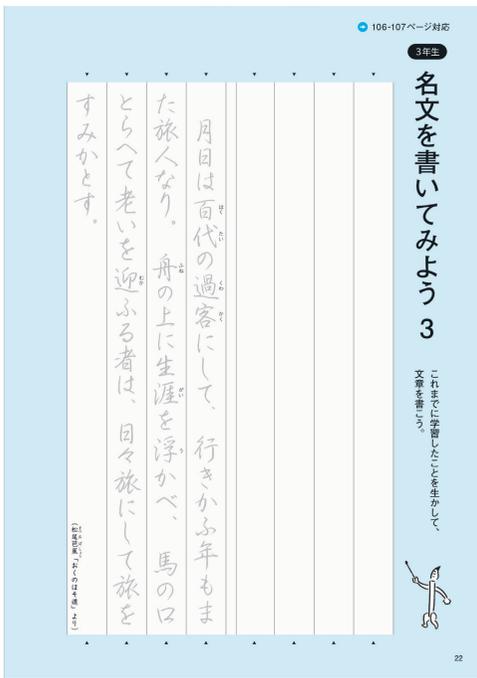
### 学習の進め方がわかりやすい



▲書写ブック10-11ページ

行書の練習

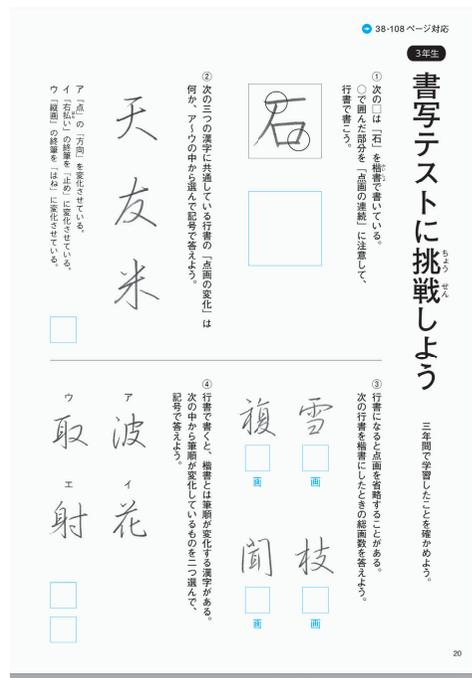
毛筆教材と同じ要素をもつ文字を繰り返し練習することで、毛筆と硬毛を関連させ、学びの定着を図ります。



▲書写ブック22ページ

名文を書いて味わう

国語教科書に掲載の古文や詩・短歌のなぞり書き教材も位置づけました。



▲書写ブック20ページ

学力テスト・入試の対応

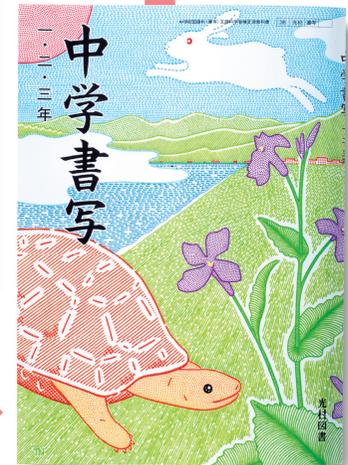
全国の入試問題を分析し、出題傾向の高い内容を掲載しました。



「書写ブック」

教科書に完全準拠した全28ページの硬筆練習帳を新設。

「教科書」で文字の整え方を確認する。



「書写ブック」の硬筆課題に取り組み、毛筆での学習を定着させる。

一、書く力が確かに身につく

28ページの硬筆練習帳「書写ブック」

教科書に完全準拠した28ページの硬筆練習帳「書写ブック」を新設しました。行書の練習の他、小学校の復習、書写テスト、名文のなぞり書きなど、毛筆の学習を生かして硬筆で書く活動を豊富に位置づけています。この一冊に、中学校三年間の学びを凝縮しました。



甲斐先生

「書写ブック」には、「整った文字」

への道筋がくっきりと示されています。何を認識することが「文字」そのものを理解することになるのか、どのようにして美しい文字は生み出されるのか、実際に手を動かすことで身体の中に入ります。国語で学んだ「扇的」や「おくのほそ道」の文章を、整った文字で書けたらさらに味わい深くなるでしょう。取り外せることを生かして、国語の授業でも積極的に活用してみたいかがでしょうか。



# 「見ること」を楽しむ、 「ものの見方」を鍛える4冊

授業づくりに役立つ本、授業とからめて生徒に読ませたい本などを紹介するリレー連載。  
今回のご担当は、渡辺光輝先生（お茶の水女子大学附属中学校教諭）です。

「君は『最後の晩餐』を知っているか」は生徒に大人気の教材です。私はいつもこの発問から授業を始めます。「どこにユダはいますか？」と。ダ・ヴィンチのことは、周りに絵に仕掛けをしていきます。それに生徒は気づくことができますか？ そんな絵画の知識を得ることができたのが『マリアのウインク』でした。さりげなく描かれたものに象徴的な意味が込められていることを知り、作品を見る楽しさを倍増させることができました。

教科書には「ちょっと立ち止まって」や広告など「見ること」がカギとなる教材はたくさんありますが、広告を扱った本でイチ押しは『何度も読みたい広告コピー』です。とくに「物語型」の広告では、たった一枚のポスターから、ほろっとしたりクスッと笑った

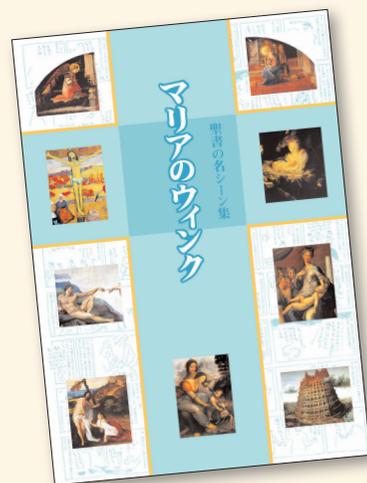
り、短編映画を見終わったかのような充実感が得られる広告が紹介されています。コピーライターが「こういう意図でビジュアルや言葉を選んだ」という種明かしをしているのもおすすめです。「見ること」の楽しさを引き出す活動に「対話型鑑賞」があります。この活動でファシリテーターは四つの質問を投げかけるそうです。「作品の中でみつけたこと、気づいたこと、考えたこと、疑問でも何でもいいので話していきましょう」「どこからそう思う？」「他にはありますか？」「そこからどう思う？」と、選りすぐりのこの問いかけを切り口に、「見え方」を重ね合わせ、理解を深めていきます。詳しくは『教えない授業』を読み、「見ること」が、深い学びとどうつながるか理解することができるといいでしょう。

『イメージと意味の本』では、絵や言葉などの「記号」から人ほどのように意味づけをしていくか、さまざまな視点から解説しています。ページには写真とともに「ものの見方」を鋭くえぐる筆者からの問いが添えられています。この問いに答えることで、読み手の固定概念はぐらぐらと揺さぶられていきます。「ものの見方」をストレッチするのに役立つような一冊です。



お茶の水女子大学附属中学校教諭  
わたなべこうき  
**渡辺光輝**

1976年、千葉県生まれ。千葉大学大学院修了。  
共著書に『学習用語で深まる国語の授業：小学校・中学校：実践と用語解説』（東洋館出版）など。



## マリアのウインク ——聖書の名シーン集

視覚デザイン研究所 編 / 1995年

西洋絵画の中で聖書の場面をモチーフとした作品を取り上げながら、聖書の各シーンについて解説。味のある手書きのイラストが添えられており、キリスト教について全く知識がない人でも楽しめる。



## 何度も読みたい広告コピー

パイ インターナショナル / 2013年

名作広告を「顧客目線型」「企業・商品メッセージ型」「第三者型」「物語型」に分類して紹介。ビジュアルとコピー（言葉）と両方楽しめる。コピーライターが自作の制作意図を解説しているのも興味深い。

BOOK GUIDE

## 教えない授業

美術館発、「正解のない問い」に挑む力の育て方

鈴木有紀 著  
英治出版 / 2019年

筆者は愛媛県美術館の学芸員。学校と協働でさまざまな教科の学習に「対話型鑑賞」を活用するプロジェクトに取り組む。この本では「対話型鑑賞」の具体的な手順やファシリテーションの方法などを詳しく説明している。



## イメージと意味の本

記号を読み解くトレーニングブック

ショーン・ホール 著 前田茂 訳  
フィルムアート社 / 2013年

画像や言葉から、人はどのようにしてイメージをもち、意味付けしていくか、クイズ形式で筆者が問いかけ、掘り下げて解説している。記号学の世界を体感できる。



# 光村図書がおすすめする春の3冊

ご注文は、最寄りの書店、または弊社ウェブサイトへ。



## 通常の学級における 特別支援教育のために

### 子どもの心の受け止め方 ——発達にみづきのある子を伸ばすヒント

川上康則 著／定価：本体1,300円＋税  
210 mm×148 mm／144p／ISBN978-4-8138-0267-9

「人の話を聞けない、指示が入らない」「オンオフの切り替えが苦手」「落ち着きがない」——。通常学級で支援を要する子どもたちへの効果的な接し方が学べ、すぐに活用できるハンドブック。

## こどもとおとなと、 そのあいだのひとたちへ

### なんだろう なんだろう

ヨシタケシンスケ 作／定価：本体1,500円＋税  
237 mm×186 mm／48p／ISBN978-4-8138-0264-8

がっこう、たのしい、うそ、友だち、しあわせ、自分、正義、ゆるす、自立、立場、ふつう、夢、そして「考える」ということ——。ふとした瞬間にかかぶ「なんだろう」を、大人気絵本作家・ヨシタケシンスケが徹底追究！道徳教科書（小1～中3／光村図書）のコラムに、かき下ろしを加えた一冊です。



## 月曜夜九時。 “レディオワン”の時間です。

### レディオワン

斉藤倫 作／クリハラタカシ 画／定価：本体1,200円＋税  
188 mm×128 mm／152p  
ISBN978-4-8138-0258-7

みなさん、こんばんわん。月曜夜九時。〈レディオワン〉の時間です。思いがけず言葉を話せるようになった、いぬのジョン。そんなジョンがラジオのDJとなって、「にんげんたち」に語りかけていく。ラジオに耳を傾けるように、じっくり読みたいたい一冊！

# 「令和3年度版 中学校教科書」ご案内ウェブサイト



[www.mitsumura-tosho.co.jp/2021c\\_kyokasho/kokugo/](http://www.mitsumura-tosho.co.jp/2021c_kyokasho/kokugo/)



[www.mitsumura-tosho.co.jp/2021c\\_kyokasho/shosha/](http://www.mitsumura-tosho.co.jp/2021c_kyokasho/shosha/)

小社が発行している中学校教科書「国語」「書写」「英語」「美術」「道徳」の令和3年度版の内容をご紹介するコンテンツを、ウェブサイトアップしております。

- 教科書の特徴を3点に絞ったコンパクトな解説
- 教科書の効果的な使い方を動画で解説した「こう使う！光村の教科書」
- QRコンテンツの一覧
- 光村の教科書づくりの理念
- 豊富なダウンロード資料
  - ・年間指導計画・評価計画資料
  - ・教科書解説資料
  - ・編集趣意書
  - ・各種サポート資料

スマートフォンやタブレットでも閲覧できます。ぜひご覧ください。



## 令和2年度 移行措置資料について

令和3年度から全面実施となる中学校の学習指導要領について、令和2年度までの移行期間における指導上の留意点や、年間指導計画、配当漢字の移行に伴う補充資料などをまとめたページをアップしています。

詳細は、下記URLをご参照ください。

国語  
[www.mitsumura-tosho.co.jp/kyokasho/c\\_kokugo/30iko/](http://www.mitsumura-tosho.co.jp/kyokasho/c_kokugo/30iko/)

書写  
[www.mitsumura-tosho.co.jp/kyokasho/c\\_shosha/30iko/](http://www.mitsumura-tosho.co.jp/kyokasho/c_shosha/30iko/)

